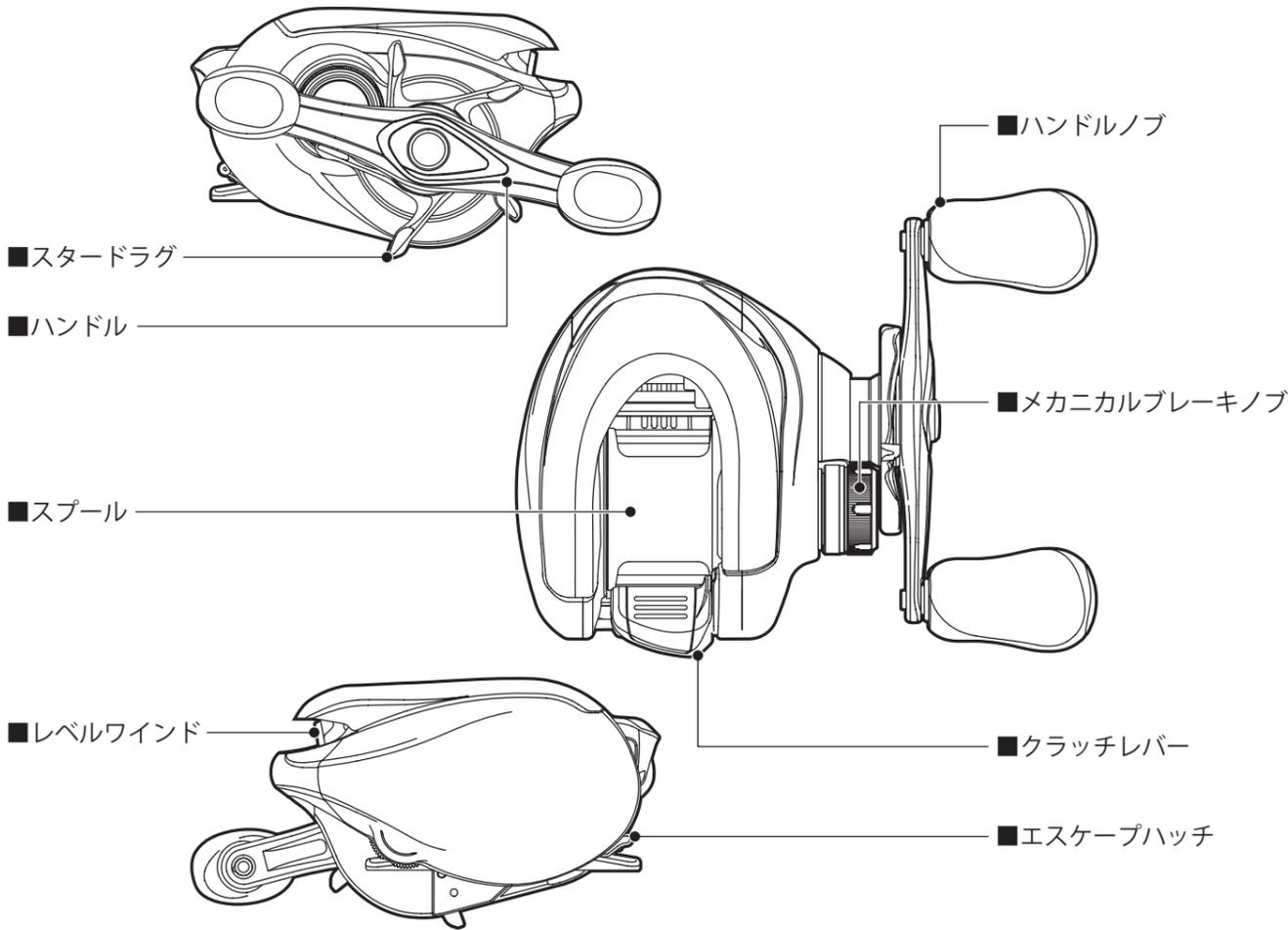


各部の名称



※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。

仕様一覧

機種名	品番	商品コード 製品コード	ギア比	最大 ドラグ力 (N/kg)	自重 (g)	ナイロン 糸巻長 (号-m)	最大巻上長 (cm/ハンドル 1回転)	スプール寸法 (径mm/ 幅mm)	ベアリング数 (S A-RB/ ローラー)	ハンドル長 (mm)
アンタレス	右	02835 5RH750000	5.6:1	49.0 /5.0	22.5	3-120 3.5-100 4-85 5-70	65	37/22	10/1	42
	左	02836 5RH751000								
	HG右	02837 5RH752000	7.4:1	49.0 /5.0	22.5	3-120 3.5-100 4-85 5-70	86	37/22	10/1	42
	HG左	02838 5RH753000								

●標準付属品

取扱説明書・分解図・リール袋・オイル・脚裏保護シート・予備ブレーキシュー（2種類各6個）・専用リールレンチ

※製品改良のため仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

サービスのご案内

本リールは精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守ってお取り扱いください。

●ご使用上の注意

砂・泥・泥水はリールの大敵です。ご使用中、リールを砂地に直接置いたり、海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や泥水が入ると、思わぬトラブルの原因となることがあります。根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。

●お手入れの方法

各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させてください。また、水に浸して洗ったりしないでください。特に、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。ドラグ部分には、絶対にオイルを付けしないでください。オイルが入ると、ドラグ力が低下することがあります。高温、高湿の状態でも長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、上記のお手入れを実施後、風通しの良い場所で保存するようにしてください。ご自分で分解・修理をされる場合は、部品のエッジ等で手を切らないようご注意ください。

●弊社純正部品以外の取り付けによる不具合は保障いたしかねます。●不具合が生じた場合はそのままの状態の販売店へお持ちになり、詳しい症状をお伝えいただき、修理をご依頼くださいますようお願いいたします。

●修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に（例/ストッパーが働かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。●ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールの取り寄せは分解図をご覧ください。製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店もしくは最寄りの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。例/製品名：ステラ 1000S 商品コード：02425

製品コード：SD83B012 部品名：スプール 部品番号：2 ●弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性がございます。

●商品コード/製品コードの位置 取扱説明書・分解図・パッケージ底面部もしくは側面部に製品コードの上5ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。



安全上・ご使用上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 注意	
	●糸をリードするレベルwindの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれてけがをすることがあります。 ●ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをすることがあります。
	●糸が勢よく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。 ●メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをすることがあります。 ●リールを砂地に直接置いたり、海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や泥水が入ると、思わぬトラブルの原因となります。 ●根掛かりした時は、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。 ●リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。 ●キャストの時にはクラッチを切るのを忘れないでください。仕掛けが出て行かず、けがをすることがあります。 ●リールを釣り以外の目的で使用しないでください。 ●リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。 ●幼児の手の届くところには置かないでください。予期せぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
	●回転しているスプールには触れないでください。けがをすることがあります。

# ANTARES

# ANTARES

# HG

淡水専用

## 取扱説明書

### SHIMANO

この度はシマノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
本製品の機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存して下さるようお願い申し上げます。

株式会社シマノ全国サービスネット

- 株式会社シマノ 北海道営業所  
〒001-0925 札幌市北区新川15条1-3-50 TEL. (011) 716-3301
- 株式会社シマノ 仙台営業所  
〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10 TEL. (022) 232-4775
- 株式会社シマノ 埼玉営業所  
〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1 TEL. (048) 772-6662
- 株式会社シマノ 東京営業所  
〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL. (03) 3744-5656
- 株式会社シマノ 静岡営業所  
〒410-0807 静岡県沼津市錦町674 TEL. (055) 962-3983
- 株式会社シマノ 名古屋営業所  
〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21 TEL. (052) 331-8666
- 株式会社シマノ 大阪営業所  
〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3-77 TEL. (072) 223-3920
- 株式会社シマノ 中国営業所  
〒700-0941 岡山市南区青江6-6-18 TEL. (086) 264-6100
- 株式会社シマノ 四国営業所  
〒768-0014 香川県観音寺市流岡町1496-1 TEL. (0875) 23-2220
- 株式会社シマノ 九州営業所  
〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6 TEL. (0942) 83-1515

株式会社シマノ 釣具事業部  
本社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番 地  
●商品の性能・スペック、カタログ、イベントやアフターサービスなどに関するお問い合わせ  
フリーダイヤル ☎ 0120-861130 (ハローイサオ)  
フリーダイヤルをご利用できない方は 072-243-8538 (有料) をご利用下さい。  
受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00 (土・日・祝日除く)  
■シマノホームページアドレスは <http://www.shimano.co.jp> です。  
新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。  
■シマノi-mode 情報 アドレスは <http://fishing.shimano.co.jp/i/> です。

**使用方法・リールの準備**

※説明書中のイラストは実際の製品と異なる場合がございます。

**■メカニカルブレーキノブ**

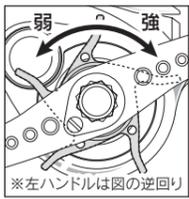
メカニカルブレーキは、スプールの回転にブレーキをかけるものです。右に回すとスプールのフリー回転にブレーキがかかり、左に回していくと、そのブレーキは弱くなります。



一般的な調整は次のように行います。リールをロッドにセットして、ガイドに糸を通し、使用するルアーを結びます。ロッドを水平にして、クラッチを切り、ルアーがゆっくりと落ちていく程度に調整します。

**■スタードラッグ**

ハンドル側から見て、時計回りに（レフトハンドルは反時計回りに）回すことでドラッグが締まります。



※左ハンドルは図の逆回り

**■ドラッグの調整方法**

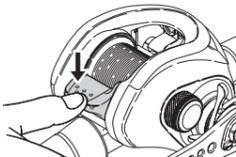
ドラッグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、スプールが逆転して糸切れ（ラインブレイク）を防ぐ機構です。又、その逆転時に発生する抵抗値をドラッグ力と言います。

1. 実際に使用される竿にリールをセットし糸をガイドに通してください。
2. クラッチを“ON”の状態にして、想定されるファイティング時のロッドの角度を保って、図のように糸を引き出しながらスタードラッグの締め付けを調節して下さい。その際、出来るだけ実際の状況に近づける為、対象とする魚の泳ぐスピードを想定して糸を引き出して下さい。



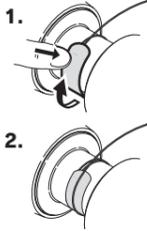
**■クラッチ操作方法**

親指でクラッチレバーを下に押すとクラッチが切れ、スプールはフリーの状態になります。カチツと音がするまで確実にクラッチレバーを押してクラッチを切ってください。



**■スプールへの糸止め方法（糸を巻く時）**

1. スプールにラインを結び、その結び目の上に市販のテープ等をピッタリと確実に貼ります。（指などで強く押し込んで下さい。）
2. シールが確実に貼られていることを確認してラインを巻き込みます。（最初は少しゆっくりと巻くようにします。）
3. 特にPEラインは滑り易く、伸びがないのでナイロンラインなどよりも強いテンションをかけてきっちり巻き込むことが必要です。

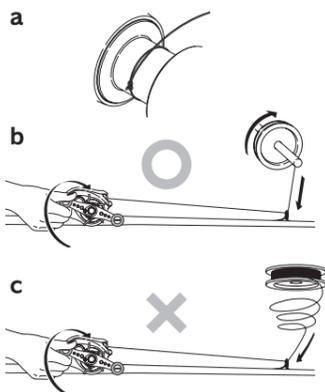


**■スプールに糸を巻かれる時の注意点**

PEラインを巻かれる際には、必ず滑り止めになる様な物をスプールに巻いてからご使用ください。そのまま巻かれますと、スプールに巻いた糸が空転し、糸が巻き取れなくなる可能性があります。

**■糸の巻き方**

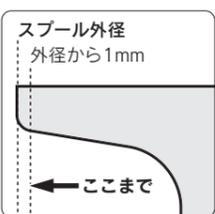
1. ドラッグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。（図 a）
4. 糸が巻かれているポビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通します。
5. そのポビンと軸を誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけて、ポビンを回転させながら糸を巻き取るようにして下さい。（図 b）  
図 c のようにならないようご注意ください。



尚、PEラインを巻かれる時は、事前にPEラインを十分に湿らせてください。巻き上げ時に発生する熱（抵抗熱）によってPEラインが劣化するのを防ぐためです。

**●推奨糸巻量**

糸巻量はスプール外径から1mmの位置まで巻く事をおすすめします。

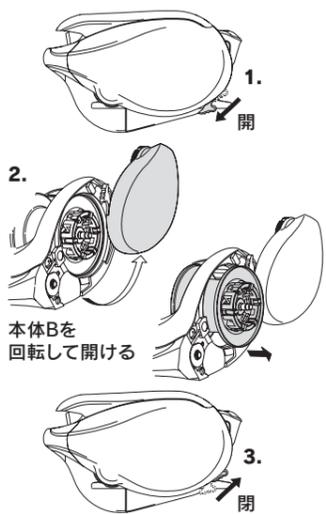


**■スプール着脱方法**

レバーを下に押し下げることで、本体Bのロックが解除され、開くことができます。釣りに使用される時や、持ち運びの時はレバーが上がってロックされている状態にしてください。

1. エスケープハッチレバーを下げると本体Bが開きます。
2. 本体B全体を支点を軸に回転（スライド）させて開きます。
3. 閉じる際は逆の手順で本体Bを元の位置に取め、エスケープハッチレバーを上げて本体Bを閉じます。

※本体B受けを外した状態で開口部を下に向けると、スプールが脱落し、変形する恐れがありますのでご注意ください。

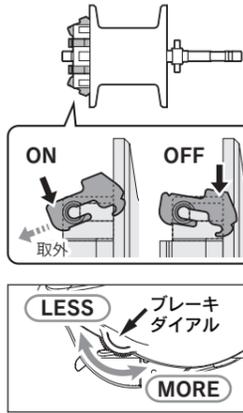


**■SVS ∞ (infinity) 調整方法**

SVS ∞ (インフィニティー) はスプールに搭載されたブレーキシューとボディ外側について調整されたブレーキ調整ダイヤルでブレーキ力を調整します。

スプールに搭載された6つのブレーキシューをON/OFFすることで、基本的なブレーキ設定が出来ます。ONにするブレーキシューの数が多いほどブレーキ力が強くなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回す事で、細かなブレーキ調整が可能です。MOREと表示された方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。



**■キャスト方法**

**●正しい握り方**

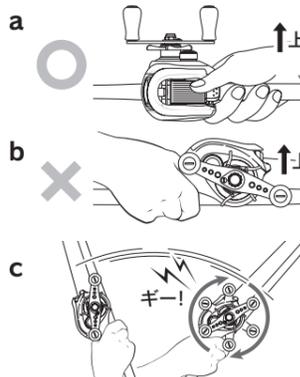
ハンドルを上向き（もしくは下向き）にして握ります。（図 a）

下記の握り方でキャストされると、クラッチ返りが起こりやすくなりますのでお避けください。

**●誤った握り方**

ハンドルを横向きにしてしまうと…（図 b）

キャストの衝撃でハンドルが回転しクラッチが返ってしまいます。（図 c）



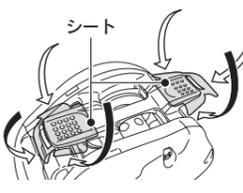
⚠️ ※キャスト時のクラッチ返りは、車でいえばクラッチを切らずにギアをつなく様なもの。最悪ギヤの破損の恐れもあります。絶対にお避けください。

※キャスト中にハンドルでクラッチを返さないでください。ギアの破損につながる恐れがあります。ルアーが着水してからクラッチを返してください。

※標準装備のハンドルより長いハンドルや、重い（大きい）ハンドルノブを取り付けると、キャスト時のクラッチ返りが起こりやすくなりますのでご注意ください。

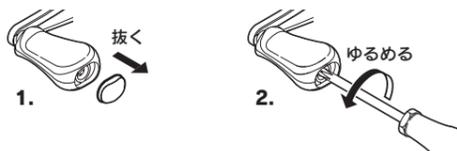
**■リール脚保護シートの使用方法**

このリールを装着する竿のリールシートが金属製の場合、付属のリール脚保護シートを装着していただくことをおすすめします。リールシートとの干渉による特殊表面処理層の損傷を和らげ、耐蝕性を維持する効果があります。



**■ハンドルノブの取り外し方（バドル型）**

1. キャップを取り外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。



**■夢屋パーツ取り付け可能**

《夢屋タイプ》

品番	ハンドルノブ
右・左・HG右・HG左	A

※詳細はシマノホームページにてご確認ください。

**■淡水専用**

本製品は淡水専用のため、海水及び汽水域での使用による不具合は保証いたしかねます。

**お手入れ方法**

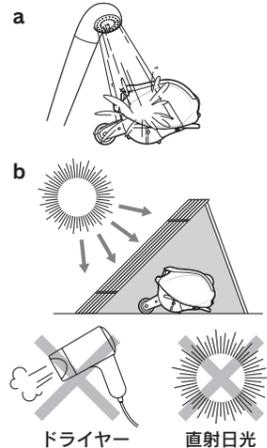
特に海水・汽水域でリールをご使用された後は、錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後にメンテナンスを行う事をお勧めします。

**① 必ず竿から外して下さい。**

使用後は、必ず竿から取り外して、真水で水洗いしてから保管ください。例え、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。

**② 水洗いして下さい。**

ドラッグをしめ込んでから、ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしながら、シャワー等の真水で、1～2分間水洗いしてください。（図 a）  
スプールを取り外し、スプールのみを水洗いしていただくことさらに効果があります。スプールに水分や汚れが残ったままリールに組むと、スプールフリーが悪くなりますので、必ずふき取ってから組み込んでください。



**③ 乾燥させて下さい。**

ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしてよく水を切った後、ドラッグをゆるめ、直射日光を避けて陰干ししてください。（図 b）  
※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。  
※隙間に残った塩分や錆による固着を防ぐため、乾燥中は1日に1度はハンドルやクラッチ等、作動部を動かしてください。

**④ 注油して下さい。**

グリス、オイルは弊社純正品（下記参照）をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。

SP-003H（メンテスプレーセット）	¥1,900
SP-013A（オイルスプレー）	¥1,050
SP-023A（グリススプレー）	¥1,100

※最寄りの販売店にてお問い合わせ下さい。上記は2011年10月現在の品番及び税抜本体価格です。

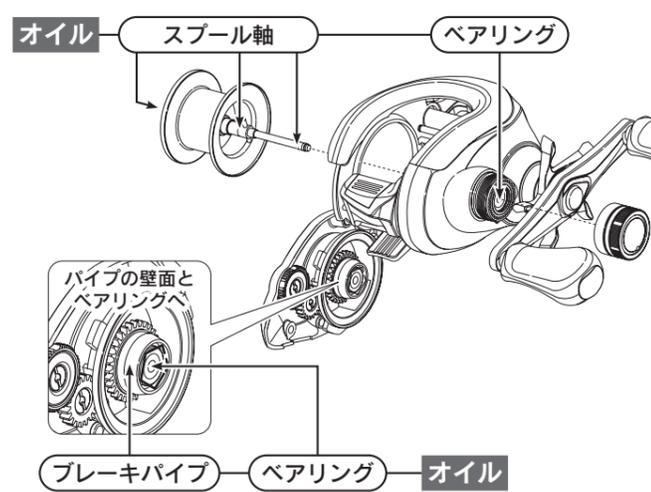
**《注油上のご注意》**

リールオイル、グリスがハンドルノブに付着したまま長期間放置すると、ハンドルノブが膨潤する場合がありますので、付着した場合はウエスやティッシュペーパー等で必ずふき取ってください。

図の注油箇所にはリールに付属の専用オイル、またはシマノリールオイルスプレー SP-013Aをまちがえないように噴霧してください。（シマノ以外のオイルは使用しないでください。）オイルはごく少量で充分です。特にベアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいください。ドラッグ部にはオイルは注さないでください。

※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。

**●注油箇所**



**⑤ 保管上のご注意**

保管の際は必ず竿から取り外してください。また、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間（自動車のトランク、ダッシュボード等）に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。

SVS ∞ (infinity)



ルアーを始めとしたスポーツフィッシングにおいて、シマノがこだわり続けてきた“キャストイング”。その“キャストイング”への飽くなき探究心がSVS (Shimano Variable brake System) を進化させました。

SVS ∞ (インフィニティー) はスプールに搭載されたブレーキシューとボディ外側についてブレーキダイヤルでブレーキ力を無段階にかつスピーディーに調整可能なブレーキシステムです。ルアーの個性に合わせてピッタリのブレーキ設定ができることはもちろん、風向き、雨などの環境要件にも瞬時に対応できます。

ブレーキの調整はブレーキシュー M3 個オン (出荷時) の状態で、ブレーキダイヤルは MAX から徐々にブレーキを少なくしていくのがベストブレーキへの近道です。ブレーキ力の調整は下の図を参考に、お好みのポジションをお探してください。

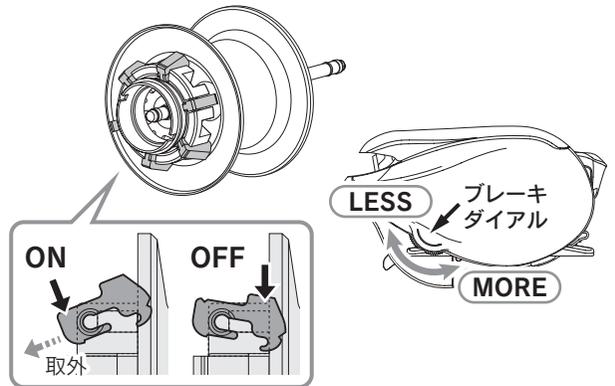
(初期設定はブレーキシュー M が 6 個装着されており 3 個が ON の状態です。)

● SVS ∞ (infinity) 調整方法

SVS ∞ (インフィニティー) はスプールに搭載されたブレーキシューとボディ外側についてブレーキ調整ダイヤルでブレーキ力を調整します。

スプールに搭載された 6 つのブレーキシューを図の要領で ON/OFF することで、基本的なブレーキ設定が出来ます。ON にするブレーキシューの数が多いほどブレーキ力が強くなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回す事で、細かなブレーキ調整が可能です。MORE と表示された方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。



《セッティング例》

ブレーキシュー：1 個 ON

メタルバイブやバイブレーションなど、空気抵抗が少なく飛距離の出しやすいルアーを遠投する際に使用します。ブレーキダイヤルを少しずつ操作して、微妙なブレーキ力の調整とベストブレーキ時の抜けるようなキャストフィール・飛距離をお楽しみください。

ブレーキシュー：3 ~ 4 個 ON

ナイロンラインであればブレーキシュー 3 個、フロロカーボンラインであれば 4 個がオールマイティに使用できるセッティングと言えます。ダイヤル 2 でバイブレーション、ダイヤル 3 でミディアムクランク、ダイヤル 5 でスピナーベイトといったように、ルアーの種類を問わず、追い風や逆風にもブレーキダイヤルで瞬時にブレーキ調整可能です。

ブレーキシュー：6 個 ON

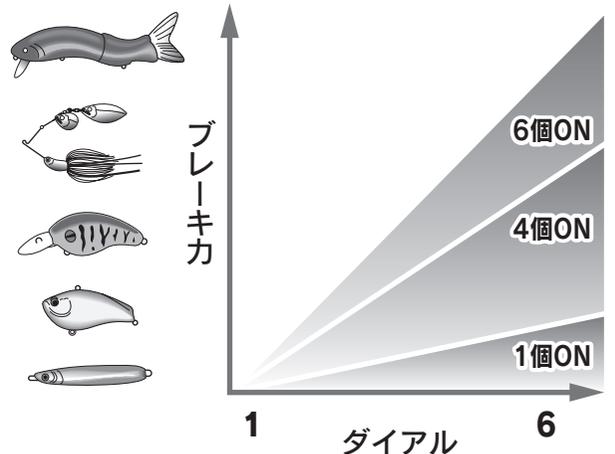
強風向かい風の場合や空気抵抗の大きいビッグベイト、ビッグブレードスピナーベイト、ティープダイバーをご使用の際は、ブレーキシューを 6 個とも ON にし、ダイヤルポジションも MAX 付近でご使用ください。強風時でもバックラッシュしづらく釣りに集中することができます。

《付属ブレーキシュー》

S サイズ、M サイズ (L サイズは夢屋スプールに付属)

S	M	L
ホワイト	レッド	ブラック

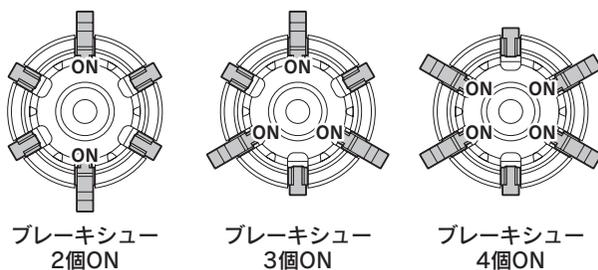
ブレーキ力： S < M < L



(裏面に続く)

## 《ブレーキシューセッティング方法》

ブレーキシューをONにする場合は、スプール軸を中心に、対称になるようにONしてください。より心地よいキャストフィールが得られます。



## ●SVS $\infty$ (infinity) ご使用上の注意

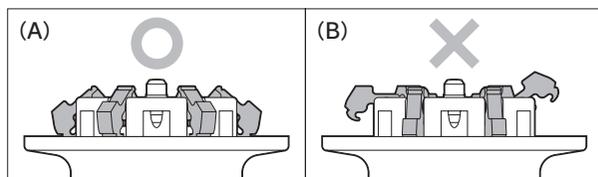
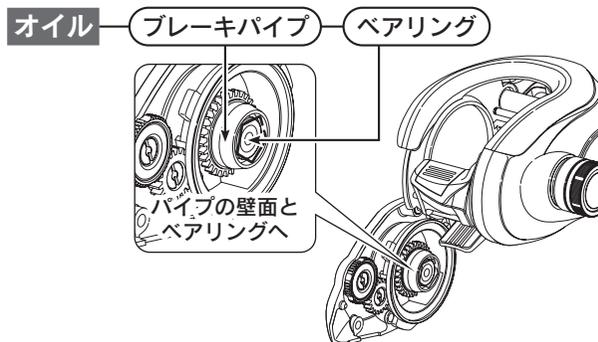
### ・注油について

ブレーキ性能を長期間持続させるため、釣行後はブレーキパイプの汚れを拭き取り、付属の専用オイル、またはシマノリールオイルスプレー SP-013Aをブレーキパイプに1滴注油してください。

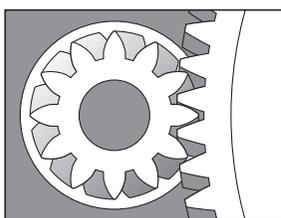
注油により各部品の磨耗を防止し、より心地よいキャストフィールで使用できます。注油の頻度は釣行5回に1度、もしくは以前の釣行から1ヶ月以上ある場合に一度を目安にしてください。

### ・ブレーキシューセッティング時のご注意

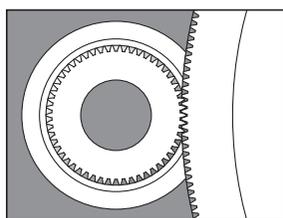
ブレーキシューONにする際は、必ずブレーキシューが図(A)の様になっていることを確認の上、サイドプレートを閉じてください。図(B)のようになっていると、サイドプレートが閉まらない、もしくはハンドルが回り難くなります。



## MICRO MODULE GEAR



従来品

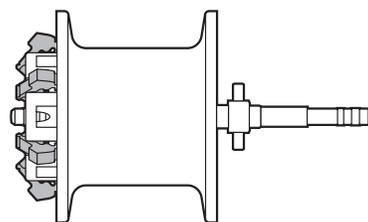


マイクロモジュールギア

アンタレスにはシマノフラッグシップベイトリールにふさわしい究極の回転性能を求め、シマノのギアテクノロジーをすべて投入しました。

JIGGERにも採用された強固なギア支持を生むX-SHIP構造に加え、他の追随を許さないシマノならではのギアフィーリングを得るためにマイクロモジュールギアを搭載しています。マイクロモジュールギア搭載により別次元のギアフィーリングを実現。マイクロモジュールギアは従来製品搭載の歯(ギア)を極限まで最小化し、超小型の歯(ギア)と歯(ギア)を同時に多数噛み合わせる事で、ギア強度を低下させることなく、驚異的なギアフィーリングを生み出すことに成功しました。そのギアフィーリングは精密加工の域を越え、まさに“シルキーな巻き心地”と表現するにふさわしい領域に達しました。

## G FREE SPOOL III

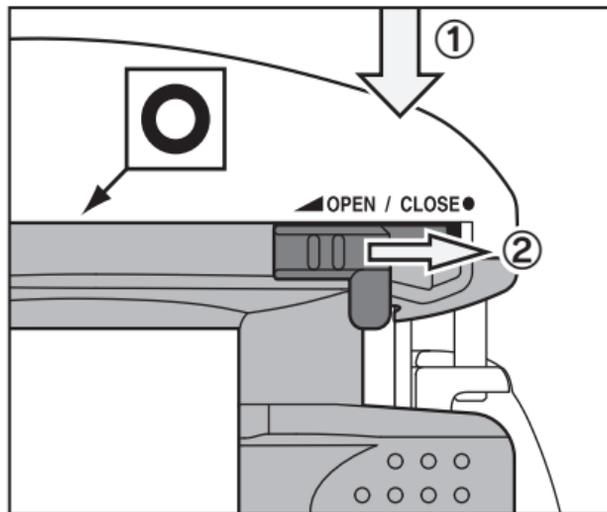
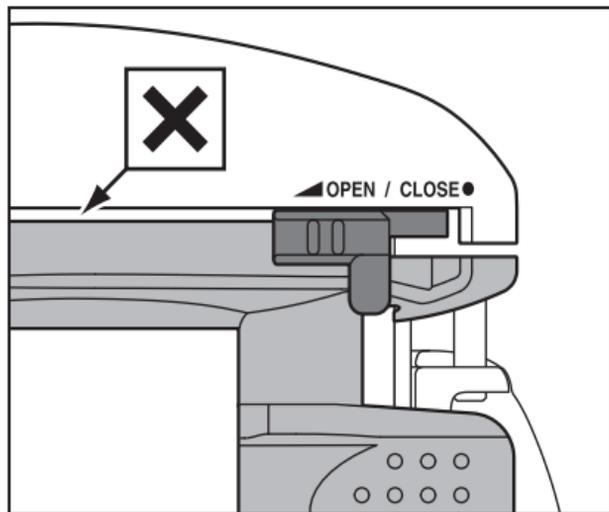


遠投時の絶対的な飛距離を考えれば、スプールは大口径の方が有利。しかし、径が大きいと重量と慣性力が大きくなってしまい小型ルアーや逆風時のキャストビリティが落ちてしまいます。

この問題を解決するためにスプール素材を比重2.7の超々ジュラルミンから1.8のマグネシウム合金へ変更し、初代アンタレスから更なる進化を遂げたG FREE SPOOL IIIが誕生しました。無重力ともいえる軽い立ち上がり、低慣性によるバックラッシュのし難さに加え、SVS $\infty$ との組み合わせにより驚異的な飛距離を生み出します。

またスーパーフリーシステム、X-SHIP、G FREE SPOOL IIIの相乗効果により、フリー回転性能37% UP(当社比)を実現、キャスト後半の圧倒的な伸びと飛距離に磨きをかけました。

## エスケープハッチ開閉時の注意



メカニカルブレーキをスプールの回転が重くなるほど締めている場合、フレームと本体Bがイラスト×のように隙間があき本体Bは閉じられません。この状態でエスケープハッチレバーを無理に上げると破損や変形の恐れがあります。必ずメカニカルブレーキを緩めた状態で、イラスト○のようにフレームと本体Bが合わさった状態をご確認の上エスケープハッチレバーを上げて本体Bを閉じてください。